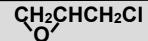
エピクロロヒドリン Epichlorohydrin



1. 別 名

1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン クロロメチルオキシラン

2. 性質

液体 無色 クロロホルム臭

● 分子量; 92.53 ● 比重; 1.180

● 蒸気密度; 3.19 ● 沸点;117℃ ● 蒸気圧; 1.6kPa (蒸気濃度1.58%)

● 下部引火点; 28℃ ● 上部引火点; 87℃

● 爆発範囲; 2.3%~34.4% ● 発火温度; 385℃

● 溶解性; 不

● 許容濃度; 日本 -

米国0.1ppm(TWA)

3. 危険性 有害性

可燃性・爆発性;高揮発性で、蒸気は空気と爆発性混 合ガスを作りやすい。

人体への影響;100ppmで、目・のど・鼻を刺激する。 蒸気吸入または皮膚吸収により、吐き 気、疲労感、胃腸、腎臓障害等を起こ

す。

臭気限界25ppm

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法 [NIOSH]

5. 用途及び発生場所

溶剤、エポキシ樹脂原料、グリシド・グリセリン誘導 体の合成、塩素化ゴム安定剤、繊維処理剤

6. 関係法令

安衛令(危険物),消防法(危険物第4類第2石油類)、 車両法(危険物、爆発性液体),危険物船送則(毒物), IMDGコード・クラス6-1

7. 検知管の適用

